

昭和63年度通常総会開かる

昭和63年度通常総会は、去る4月28日に開催され、OR学会賞の授与、新フェローの紹介が行なわれました。

以下に総会の議事録と事業報告、収支計算報告、事業計画、予算をお知らせします。

昭和63年度通常総会議事録

1. 日時 昭和63年4月28日(金) 15:00～17:00
2. 場所 学士会館 文京区本郷3-7-1
3. 出席者 吉山博吉他 775名(委任状による出席者を含む)

但し会員総数 2,213名(1/3は738名)

上記のとおり出席者が定款第31条に定める定足数に達したので、定款第28条により吉山会長が議長となり、議事録署名人に山田善靖、森清 堯の両氏を選出して議事に入った。

第1号議案 昭和62年度事業報告の件

古林理事より別紙昭和62年度事業報告書にもとづき説明があり、承認された。

第2号議案 昭和62年度収支計算報告および監査報告の件

山下理事より別紙昭和62年度収支計算報告書にもとづき説明があり、この報告に関し川野監事より監査報告がなされ承認された。

第3号議案 昭和63年度事業計画の件

森清理事より別紙昭和63年度事業計画について説明があり、原案どおり承認された。

第4号議案 昭和63年度予算の件

山下理事より別紙昭和63年度予算書について説明があり、原案どおり承認された。

第5号議案 昭和63年度・64年度役員選任の件

定款第15条にしたがい昭和63年度・64年度役員候補者並びに継続役員が別紙のとおり発表され、満場一致で選任された。

第6号議案 昭和63年度・64年度評議員選任の件

定款第19条および第21条にしたがい昭和63年度・64年度評議員候補者が別紙のとおり発表され、満場一致で選任された。

以上で総会の議事を終了し、議長は閉会を宣言した。上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

昭和63年4月28日 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

昭和63年度通常総会

議長 吉山 博吉

議事録署名人 山田 善靖

” 森清 堯

総会に引続き以下の行事が実施された。

1. 学会賞の授与

矢島表彰副委員長、今野文献賞選考小委員長、山田表彰委員および原野表彰委員より各賞の選考経過の説明があり、会長より賞状・賞牌が下記のとおり授与された。

第16回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞
今井 浩

山本芳嗣

第13回日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞
西田俊夫

第8回日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞

澤田晃二

中野一夫・相沢りえ子・会田朋子・矢崎義行・森戸晋
第3回日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞ソフトウェア部門賞

高橋 悟・宮田雅智・本郷 茂・矢部 博・八巻直一

2. 新フェローの紹介

新フェローとして海辺不二雄、小笠原 暁、今野 浩、須永照雄、高橋馨郎の各氏が紹介され、会長よりフェロー記が贈呈された。

3. 感謝状の贈呈

28年間の長期にわたり学会事務局に勤務された鈴木前事務局長に対し、学会より感謝状と記念品が贈呈された。

昭和62年度事業報告

I 事業の概要

1. 研究発表会

(1) 5月14日, 15日の両日, 芦屋大学において, 第61回研究発表会を開催した.

• 特別テーマ 「戦略的経営とOR」

• 特別講演

1) 都市の戦略的経営 宮崎辰雄 (神戸市)

3) 流通業における戦略的経営

中内 功 (ダイエー)

3) 産業構造の変化に対応したOR発展の方向は?

三根 久 (関西大学)

• 発表件数 124件

特別テーマ 6件

一般発表 111件 (内部会報告1件)

ペーパーフェア 7件 (内部会報告5件)

• 参加者数 342名

また, 16日には神戸市のメリケンパーク, 海洋博物館, 国際会議場, 六甲アイランド, 菊正宗酒造等を見学した.

(2) 10月17日, 18日の両日, 文教大学において, 第62回研究発表会を開催した.

• 特別講演

1) 老後を優雅に送るお金の計算

後藤 弘 (文教大学)

2) 老人問題について 今井克彦 (神奈川県

総合リハビリテーション事業団)

• 招待発表

1) 企業におけるOR実施例

水野幸男・紀 一誠

(日本電気)

2) 一法律実務家から見た法社会の変化とOR

越山 康 (越山康法

律事務所)

3) スケジューリング理論の研究の復権をめざ

して

石井博昭 (大阪大学)

• IFORS 報告

ブエノスアイレスの会議に参加して

松田武彦 (産業能率大

学)

• 発表件数 90件

一般発表 83件 (内チュートリアル4件)

ペーパーフェア 7件 (内部会・グループ報告3件)

• 参加者数 316名

また, 19日には神奈川県総合リハビリテーション事業団, 老人ホーム, リハビリテーションセンターを見学した.

2. シンポジウム

5月13日, 芦屋大学において, 第18回シンポジウム「ディジションサポートシステムの最近の動向」を開催した. 参加者は136名であった.

3. 研究部会

研究部会・研究グループ終了・中間報告

◎印 終了を示す *印 研究グループを示す

☆印 常設部会を示す

部 会 名	主 幹 査 事	メンバ一	開 催	内 容	場 所
☆待ち行列	亀 田 壽 夫 (電気通信大学) 小野田 好 邦 (電気通信大学)	41名	11回	研究部会の内容は, 待ち行列とその応用に関する新しい研究成果の発表, 従来の研究のサーベイ, 外国で行なわれた研究集会の報告等に及んだ. 特に, 今年度は, 通信・情報システムの概説と待ち行列から見た諸問題についても扱った.	東京工業大学
☆数理計画	森 戸 晋 (早稲田大学) 土 谷 隆 (統計数理研究所)	90名	12回	数理計画の理論と応用に関する研究発表からなる月例会会を行ない, 数理計画法に関心を持つ研究者, 実務家, 学生の研究交流をすすめた. 理論面では通信・電力・スケジューリング等広い分野における応用を取り扱ってきた.	統計数理研究所

部 会 名	主 査 事 幹	メンバー	開 催	内 容	場 所
☆OR/MS とシステム・ マネジメント	山 田 善 靖 (東京理科大学) 太 田 敏 澄 (豊橋技術科学大学)	40名	12回	本研究部会はOR/MSを利用し、経営システムのマネジメントをより有効に行なう方法を研究する。本年は「経営システムデザイン」の考え方の研究と「組織知能」の考え方と、その発現方法の研究を行なった。	東京工業大学
◎政策科学 (関西)	小笠原 暁 (芦屋大学) 辻 新 六 (神戸商科大学)	62名	8回	政策科学の1つの研究課題である意思決定支援システム(DSS)を中心に、広く学内外から講演者を招き、貴重な情報を得るとともに、活発な議論を行なった。特に実施面の問題点を探るため、事例紹介に力を入れた。	芦大クラブ
◎確率モデル とその応用	沢 木 勝 茂 (南山大学) 岸 善 徳 (愛知学院大学)	13名	8回	ORのさまざまな分野で取り扱う確率モデルの種々の最適手法や予測技術の研究並びに確率モデルの構築法やそのための基礎理論の討論を行なった。本部会は、中部地区の大学および企業の合同研究の場を提供している。	名古屋工業大学
◎新社会システム	加 地 郁 夫 (北海道大学) 大 内 東 (北海道大学) 栗 原 正 仁 (北海道大学)	16名	14回	コンピュータやニューメディアの導入により変わりつつある社会を「新社会システム」と呼び、地域との関連の下で設計・計画・運用面におけるOR的諸問題の発掘とその解決を目指し、幅広い交流と情報交換を行なった。	北海道大学
動的計画法	小田中 敏 男 (東京都立科学技術大学) 蔵 野 正 美 (千葉大学)	10名	8回	月例研究の他に、63年1月には大学セミナーハウスで恒例の「DPシンポジウム」を開催した。DPとその周辺の課題について多くの知見が得られた。	日本科学技術連盟
最適化とその 応用	児 玉 正 憲 (九州大学) 岩 本 誠 一 (九州大学)	19名	8回	経済学・工学を中心とするOR分野におけるシステムの最適化と解析におたる広範囲の研究結果が発表された。その内容は主に、①各種経済・経営・工学システムの最適化 ②DP, MDPを中心とする数理計画の理論と応用 ③最適停止問題の決定論及びゲーム論による解析 ④微分を用いない数理計画法の解析 ⑤企業・システム・情報・組織の分析に分類される。	九州大学
政策問題	荻 野 正 浩 (朝 電脳総合 サービス) 片 山 隆 仁 (防衛庁)	33名	11回	総合科学的取扱いを指向して展開されている「政策科学」の考え方及び方法を意思決定の場に活かすことを目的とし、文献・資料研究とともに、現実の社会の動き、情報・意思決定の実際等について研究討論している。	三菱総合研究所
対話型OR	権 藤 元 (近畿大学) 高 岡 澄 雄 (中国電力㈱)	24名	10回	「モデルとの対話」を中心として最近のOA環境のもとで、ORワークの姿を描き研究を進めている。第1年度はスプレッドシートの有効性を確認したが、第2年度はさらにこの高度な利用を探るとともに、モデルの成長発展の過程にも挑戦を試みたい。	中国電力㈱

部 会 名	主 幹 査 事	メンバー	開 催	内 容	場 所
交通・流通システム	忍 田 和 良 (日通総合研究所) 稲 場 日出男 (工学院大学)	16名	10回	整備新幹線、青函トンネルといった交通インフラの整備が進んでいる。一方、生活者の行動、物の販売形態・方法も変化を続けているこれらの現況、課題、方向を探りシステム分析、代替率評価などの研究を行なった。	東洋経済新報社
最適化とその周辺	茨 木 俊 秀 (京都大学) 福 島 雅 夫 (京都大学)	33名	10回	前年度まで関西地区では「数理計画法」「システム最適化」の各研究部会活動を行ってきたが、本研究部会はこれらの実績をふまえ、数理計画法の理論と応用、意思決定手法等に加えて人工知能、知識工学等の分野も含む、幅広い分野について研究、情報交換を行なっている。	京大会館
意思決定	真 鍋 龍太郎 (文教大学) 大 屋 隆 生 (電力中央研究所)	33名	7回	AHPを中心に、意思決定の方法論と実際について研究することを目的に発足した。87年5月から毎月1回研究会を開催。理論、事例研究の発表、文献紹介をしており、インフォーマルで活発な意見交換がある。部会として共通テーマを研究することも考えている。	住商コンピューターサービス(株)
*◎社会経済分析	小 島 光 造 (佐々木彬夫事務所) 雨 宮 幸 雄 (東京計算サービス)	22名	19回	社会経済を支配する要因として、①人間の価値意識構造 ②国家社会のもつ体質と風土 ③技術の発展 ④社会を支配する成文あるいは不文律のルール(カルチャーの問題も含む) ⑤政治などを取り上げ、現実の問題について実証分析した後、普遍性を帰納する方向で研究を進めた。	勤労福祉会館
*◎日本のシステム科学	上 田 亀之助 (上田イノベーション ジョン研究所) 樋 爪 徹 (山内製薬(株))	23名	12回	世界システムと、その1つのサブシステムである日本とのインターフェースを、人間行動に焦点をあてシステム科学的にアプローチすることにより、日本と世界の関係の解明に努めた。	勤労福祉会館
* 決定理論とその応用	坂 口 実 (大阪大学) 吉 田 稔 (大阪大学)	26名	7回	主に次の分野の研究発表を行ない、学会員相互の情報交換に努めた。①各種経済問題の計画数学問題としての定式化と解析 ②順序づけ問題 ③ゲームの理論 ④タイミングのゲームとその応用 ⑤最適探索問題 ⑥最適停止および制御理論とその応用。	阪大工業会館
* トップ業務の創造的エキスパートシステム設計	三重野 博 司 (東京理科大学)	13名	24回	経営における管理対象は人・物・金であり、後者の管理手法はきわめて進行しているが、今日問題があるのは人の管理だ。トップは移りゆく人事管理に対して常に創造力を持たねば対処できないので創造的 expert system が必要である。その設計指針を得るため本年度は採用における適性検査についてアンケートをとり実情調査した。	情報処理開発協会

4. 普及活動

(1) 定例講演会

開催年月	テ	マ	講	師	参加人数	開催地区
62年9月	最近の企業内ネットワークの動向について		横	山 宏 一	19名	九 州
// 12月	ORとOA—俺らの時代—		権	藤 元	26名	中 部
63年2月	在庫管理における階層多目的意思決定支援システムについて		野	村 淳 二	30名	中国四国

(2) ORセミナー

ORセミナー「人工知能を利用した意思決定支援システム」を昭和62年11月17日、寺野隆雄（電力中央研究所）他4名を講師として開催した。参加者は71名であった。

(3) OR企業サロン

産学一体となったORの普及を目標として、賛助

会員企業のトップ・ミドルを対象に「OR企業サロン」を新たに開設した。「インテリジェントな経営を目指して」を統一テーマとし、松田武彦（産業能率大学）をコーディネーターとして、下記のとおり6回開催し、OR関連の話題を提供するとともに、異業種の交流を深めることにより、大きな成果を上げることができた。

開催年月日	テ	マ	ゲストスピーカー	参加人数
62.6.10	組織知能—人間知能と人工知能の結びつき ○組織の知、情、意 ○組織力を発揮させるための新しいOR			33名
62.7.8	問題発見のからくり ○組織は問題をどう発見するか ○ビジネスチャンスの探索		茅野 健（㈱オーケン） 「企業における創造性」	36名
62.9.9	企業にとっての問題とは何か ○日本人の得手、不得手 ○組織の意思決定とは		大前義次（茨城大学） 「情報システムの失敗に学ぶ」	42名
62.10.7	企業の問題解決とエキスパートシステム ○ORとAIの協働		山腰直人（プライスウォーターハウス コンサルティング㈱） 「資金調達・運用へのAIの応用」	41名
62.11.11	企業は施策をどう実行に移すか ○組織知能とシステム思考 ○複眼的システム観の必要性		平尾信正（東京ガス㈱） 「大規模プロジェクトへのシステムの アプローチ」	32名
63.1.13	革新的風土をどう定着させるか ○組織と情報システム ○組織革新とOR			28名

5. 刊行物

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」Vol.32 No.3からVol.33 No.2まで12号（本文834ページ）を発行した。各号は特集を主とし、他にトップの視点、解説、事例研究、総合報告、連載、事例紹介、研究室だより、学生論文賞受賞論文要約、書評、文献紹介、研究部会報告等を掲載した。特集のテーマは次のとおりであった。

Vol.32 No.3「問題解決法としてのOR」、同No.4「板取り」、同No.5「シミュレーション」、同No.6「ORの図解」、同No.7「交通」、同No.8「本四架橋」、同No.9「AIの推論とOR」、同No.10「北海道開発のOR」、同No.11「スケジューリング」、同No.12「金融」、Vol.33 No.1「分枝限定法」、同No.2「戦略的マーケティング」

(2) 論文誌 (Journal of the Operations Research

Society of Japan) Vol. 30 No. 1からNo. 4まで(497ページ)を発行した。本年度の投稿論文は80編(再投稿38編を含む)で、掲載論文は26編であった。

(3) 研究発表会アブストラクト集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集を発行した。

6. 公的活動

(1) 日本学術会議関連

日本学術会議に第14期登録学術団体としての申請を行ない、承認され、会員候補者として、第3部(経営学専門)に松田武彦氏、第5部(経営工学専門)に近藤次郎氏を選定し、日本学術会議会員推薦管理会に推薦の届け出を行なった。

日本学術会議経営工学研究連絡委員会(経営工学研連)の構成学会として、引き続き委員4名を派遣し、その活動に協力した。

7月9日に、経営工学研連並びにFMES(次項参照)の共催による第3回シンポジウムを日本学術会議講堂において開催し、236名の参加をみた。

(2) 経営工学関連学会協議会(FMES)関連

前年度に引き続いて関連学会(日本経営工学会・日本品質管理学会)との協議会に委員4名を派遣し、日本学術会議に関連する諸問題の協議、文部省科学研究費補助金の分科(経営工学)新設の申請、連合シンポジウムの開催等の諸活動に協力した。

(3) 日本工学会関連

工学系59学協会の連合体である日本工学会の活動に協力し、同会事務研究委員会に委員1名を派遣した。

7. 国際協力

(1) IFORS(International Federation of Operational Research Societies)が発行するIAOR(International Abstracts in Operations Research)の編集発行に協力し、日本の文献抄録66編を送付するとともに、IAORのVol. 34 No. 1~3, Vol. 35 No. 1~3の国内頒布に協力した。また、EJOR(European Journal of Operational Research), APJOR(Asia-Pacific Journal of Operational Research)の編集委員をおき、その編集、頒布に協力した。

(2) 昭和62年8月10日~14日までアルゼンチンのブエノスアイレス市で開催されたIFORSの第11回国際OR会議で下記のとおり発表を行なった。
日本代表論文

• Traffic Forecasting Using a State Space Model

阿部威郎, 斉藤 洋(日本電信電話株)

• Design of a Decision-Support Workstation System for Hierarchical Multiobjective Large-Scale Problem in Inventory Control
野村淳二(松下電工株)他3名

特別講演 松田武彦(産業能率大学)

一般発表 21件

(3) IFORSの第11回国際OR会議への参加を中心とした「南米諸国とのOR交流視察団」を南アメリカ諸国に派遣した。

参加者15名, 団長: 松田武彦(産業能率大学), 副団長: 斉藤嘉博(日立製作所), 幹事: 若山邦紘(法政大学)

8月5日に出発, ブラジル・サンパウロにてブラジルフォード社, サンパウロ州立総合大学を訪問し, 引き続き国際会議に出席した。その後ブラジルOR学会の協力を得てリオデジャネイロのブラジル電力公社とブラジル石油公社を訪問し, 最後にメキシコIBMの研究所を訪問し, 意見の交換を行なった。8月21日帰国。

(4) APORS(Association of Asian-Pacific Operational Research Societies)の事務局(事務局長 若山邦紘(法政大学))として, 同組織の運営に協力するとともに, IFORSの第11回国際ORの会議を機に開かれた第3回理事会に代表を派遣した。また, 昭和63年8月24日~26日に韓国ソウル市で開催される第1回国際会議の準備に協力した。

(5) 国際数理計画シンポジウム, TIMS国際会議, 国際数学会議の開催準備に協力した。

8. 他学協会との交流

他学協会の開催した下記の講演会等に協賛, 後援した。

• 第8回数理計画シンポジウム(数理計画シンポジウム委員会)

• 講演会「経営戦略におけるAIの応用」((社)石油学会)

• 第30回自動制御連合講演会((社)計測自動制御学会)

• 講習会エキスパートシステム: 方法論と応用((社)計測自動制御学会)

• 第13回システムシンポジウム((社)計測自動制御学会)

- 国際ファジィ・システム学会第2回会議 ((社)計測自動制御学会)
- セミナー「MAPの標準化の現状」(日本自動制御協会)
- 第18回信頼性・保安全性シンポジウム (勸日本科学技術連盟)
- シグナル・システム・コントロール (SSC) シンポジウム (日本自動制御協会)
- 第7回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス (日本シミュレーション学会)
- 第4回ファジィシステムシンポジウム (国際ファジィシステム学会日本支部)
- 第38回自動制御講習会 (日本自動制御協会)
- 講習会「生体におけるセンシングと情報処理」((社)計測自動制御学会関西支部)

9. 支部活動

各支部ごとに下表のとおり活動した。

10. 表彰

- (1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞
第16回文献賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。
 - Extensions of the Multiplicative Penalty Function Method for Linear Programming. Journal of the Operations Research Society of Japan Vol.30 No.2, 今井 浩 (九州大学)
 - A Path Following Algorithm for Stationary Point Problems. Journal of the Operations Research Society of Japan Vol.30 No.2, 山

- 本芳嗣 (筑波大学)
 - (2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞
第13回普及賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。
 - 西田俊夫 (大阪大学)
 - (3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞
第12回実施賞の選考を行なったが、該当者はなかった。
 - (4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞
第8回事例研究奨励賞の選考および第3回事例研究奨励賞ソフトウェア部門の選考を行ない、下記のとおり決定した。
 - 第8回事例研究奨励賞
 - 最適板取り自動計算システム
オペレーションズ・リサーチ Vol.32, No.4, 澤田晃二 (日産自動車㈱)
 - パソコン版ダンブトラック運行シミュレータの開発と走路区間のモデル化
オペレーションズ・リサーチ Vol.32, No.5, 中野一夫, 相澤りえ子, 会田朋子 (勸構造計画研究所), 矢崎義行, 森戸 晋 (早稲田大学)
- 第3回事例研究奨励賞ソフトウェア部門
- ASNOP (Application System for Nonlinear Optimization Problems)
高橋 悟 (東京理科大学), 宮田雅智 (青山学院女子短期大学), 本郷 茂 (専修大学), 矢部 博 (東京理科大学), 八巻直一 (勸システム計画研

支 部 活 動 報 告

	北海道	東北	中部	関西	中国四国	九州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回 春季研究発表会 実行委員会 4回	支部総会 1回 役員会 1回 幹事会 1回	支部総会 1回
研究会	研究会 2回	研究会 2回	研究会 6回 研究発表会 2回	研究会 9回		研究会 3回
講演会	講演会 2回	講演会 1回	講演会 3回	講演会 4回 記念講演会 1回	講演会 3回	講演会 1回 記念講演会 1回
出版			支部ニュース 2回 研究発表会 アップ ストラクト集 2回			
その他			見学会 1回	見学会 1回	見学会 1回	見学会 1回

研究所)

(5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞
第5回学生論文賞の選考を行ない、下記のとおり
決定した。

- 変分不等式に対する解法とその交通流均衡問題への適用 (京都大学・修士論文) 伊藤武寿
- 単一制約付最大集荷問題の最適化アルゴリズム開発 (早稲田大学・修士論文) 片岡靖詞
- 小修理 (minimal repair) を仮定しない取り替え問題の研究 (東京工業大学・修士論文) 鈴木康介
- 国家間関係の分析におけるグラフ理論からの接近 (埼玉大学・修士論文) 高橋 徹
- 線形計画問題に対する新解法について一内点法の開発と評価 (東京工業大学・修士論文) 吉瀬章子

11. 受賞助成金推薦

昭和62年度鹿島学術振興財団の研究助成候補者として下記のとおり推薦した。

- 水生植物による用水の浄水について
研究代表者 小田中敏男(東京都立科学技術大学)

12. 創立30周年記念事業

(1) 創立30周年記念式典を、10月16日(金)に86名の出席者を得て神田・学士会館にて下記の要領で開催した。

- 1) 会長挨拶 吉山博吉
 - 2) 記念講演 近藤次郎(日本学術会議会長)
 - 3) 祝 辞 伊藤富雄(日本学術会議第5部長)
秋庭雅夫(日本経営工学会会長)
池沢辰夫(日本品質管理学会会長)
 - 4) 創立30周年記念事業報告
 - 5) オペレーションズ・リサーチ誌の表紙デザインの入選表彰 高井英造(三菱石油㈱)
- (2) 長期計画を作成した。
- (3) オペレーションズ・リサーチ誌の表紙デザインを募集し、入選作品を採用した。
- (4) オペレーションズ・リサーチ誌の創立30周年記念号を62年6月に発行した。
- (5) 歴史的資料の整理にとりかかった。

II 処務の概要

1. 役員に関する事項

理事	定数：12人から16人
	任期：2年
非常勤	現在：16人
監事	定数：2人
	任期：2年
非常勤	現在：2人

理事・監事の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任		担当職務	職名
			就任年月日	登記年月日		
理事(会長)	吉山 博吉	非常勤	61. 4. 28	61. 7. 25	会務の総理	㈱日立製作所相談役
"(副会長)	刀根 薫	"	"	"	企画調整	埼玉大学教授
"(")	竹内 啓	"	62. 4. 28	62. 7. 1	"	東京大学教授
"(")	矢島 敬二	"	"	"	"	㈱日本科学技術研修所顧問
"(庶務)	古林 隆	"	61. 4. 28	61. 7. 25	庶務	埼玉大学教授
"(")	森清 堯	"	62. 4. 28	62. 7. 1	"	㈱電力中央研究所経済研究所室長
"(国際)	若山 邦紘	"	"	"	国際	法政大学教授
"(研究普及)	西野 寿一	"	"	"	研究・普及	慶応義塾大学教授
"(")	紀 一誠	"	61. 4. 28	61. 7. 25	"	日本電気㈱C&Cシステム研究所研究課長
"(編集)	山田 善靖	"	62. 4. 28	62. 7. 1	機関誌編集	東京理科大学教授
"(")	今野 浩	"	61. 4. 28	61. 7. 25	論文誌編集	東京工業大学教授
"(会計)	山下 達哉	"	"	"	会計	日本アイ・ピー・エム㈱計画推進部長
"(無任所)	小和田 正	"	62. 4. 28	62. 7. 1	無任所	名古屋工業大学教授
"(")	斎藤 嘉博	"	61. 4. 28	61. 7. 25	"	㈱日立製作所主管技師長
"(")	橋田 温	"	"	"	"	NTT通信網第一研究所橋田特別研究室長
"(")	田畑 吉雄	"	"	"	"	大阪大学教授
監事	川野幸三郎	"	"	"	民法59条	東燃石油化学㈱主席部員
"	嶋田 正三	"	62. 4. 28	62. 7. 1	"	法政大学教授

2. 職員に関する事項

区分	専任者		備考
	有給者		
	人数	左の人数の基本給 (年度末月額)	
事務職員	3人	624,800(円)	
計	3人	624,800(円)	

3. 会議に関する事項

(1) 通常総会

開催年月日	議事事項	結果
62. 4. 28	1. 昭和61年度事業報告の件 2. 昭和61年度収支計算報告の件 3. 監査報告の件 4. 定款および細則の一部改訂の件 5. 昭和62年度事業計画及び収支予算の件 6. 昭和62年度・63年度役員選任の件 7. 名誉会員推薦の件 8. 昭和61年度学会賞の発表と表彰の件 9. 新フェロー紹介の件	承認 " " " " " " " " "

(2) 理事会

開催年月日	議事事項	結果
62. 5. 20	1. 昭和61年度評議員会議事録の件 2. 昭和61年度第7回理事会議事録の件 3. 昭和62年度通常総会議事録の件 4. 各委員会等からの報告 • 支部長会議, 事務長選考委員会など 5. 昭和62年度委員・幹事委嘱の件 6. 秋季研究発表会の件 7. 学術会議関連研連再登録の件	承認 " " 了承 承認 " "
62. 7. 3	1. 第1回理事会議事録の件 2. 各委員会等からの報告 • 春季研究発表会, 第18回シンポジウム, 昭和62年度第一四半期収支計算など 3. 職員就業規則の件 4. 本部事務局人事の件	承認 了承 継続 承認
62. 9. 11	1. 第2回理事会議事録の件 2. 各委員会等からの報告 • 秋季研究発表会, 昭和62年度上半期収支計算, 第11回IFORS国際会議と視察団, 第3回APORS理事会など 3. 職員就業規則の件	承認 了承 承認

開催年月日	議事事項	結果
	4. ORセミナー開催の件 5. IFORS規約改正の件 6. 第5回学生論文賞推薦の件 7. 日本学術会議第14期会員候補者選出の件 8. 昭和63年度役員改選に伴う選挙手順	承認 " " " "
62. 11. 13	1. 第3回理事会議事録の件 2. 各委員会からの報告 • 創立30周年記念式典, 支部長会議, 秋季研究発表会, ORセミナー, 会長候補者選考委員会, 経営工学研連・FMES連合第3回シンポジウム, 第13回国際数理計画法シンポジウム, 国際会議特別会計報告 3. 昭和63年度春季研究発表会の件 4. マレーシアのIFORS加盟の件 5. AHP国際シンポジウム参加視察団の企画について 6. 第2次長期計画への対応について 7. 昭和63年度事業計画案および予算案の編成方針の件 8. 文部省科研費申請の件	承認 了承 承認 " " " 了承 "
63. 1. 18	1. 第4回理事会議事録の件 2. 委員会等からの報告 • ORセミナー, OR企業サロン, 第3四半期収支計算, 次期会長候補者選考委員会など 3. 春季研究発表会予算の件 4. 研究部会の新設・継続申請の件 5. 嘱託任用の件 6. 日本学術会議第14期会員候補者選出の件	承認 了承 継続 承認 " "
63. 3. 18	1. 第5回理事会議事録の件 2. 委員会等からの報告 • シンポジウム, 春季・秋季研究発表会, 会員増強委員会, 学術会議・FMES関係報告 3. 学会細則の一部改正 4. 著作権規程の制定の件 5. 会友の選定 6. 第29回経営科学会(TIMMS)国際会議開催の件 7. 昭和62年度フェロー推薦の件 8. 昭和62年度学会賞授賞候補推薦の件 9. 昭和62年度研究部会・グループ終了経過報告の件 10. 昭和62年度事業報告(案)及び収支見込の件 11. 昭和63年度役員候補者の件	承認 了承 承認 継続 承認 了承 承認 " " " "

開催年月日	議 事 事 項	結果
	12. 昭和63年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件	承認
	13. 重点領域申請の件	了承
63. 4. 14	1. 第6回理事会議事録の件	承認
	2. 昭和62年度事業報告の件	〃
	3. 昭和62年度収支計算報告および監査報告の件	〃
	4. 昭和63年度事業計画の件	〃
	5. 昭和63年度収支予算の件	〃
	6. 昭和63年度・64年度役員選任の件	〃
	7. 昭和63年度・64年度評議員選任の件	〃
	8. 著作権規程の制定の件	〃

(3) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	結果
63. 4. 14	1. 昭和62年度事業報告の件	了承
	2. 昭和62年度収支計算報告および監査報告の件	〃
	3. 昭和63年度事業計画の件	〃
	4. 昭和63年度収支予算の件	〃
	5. 昭和63年度・64年度役員候補者選任の件	〃
	6. 昭和63年度・64年度評議員候補者選任の件	〃

(4) 支部長会議

支部長会議は5月(関西)と10月(東京)の2回開催し、OR学会の諸問題について意見を交換し、本部と支部の意見調整を行なった。

	名誉 会員	正会員	学生 会員	賛 助 会 員		合計	
				A種	B種		
昭和62年2月末日	7	2,208	171	103(117.5)	0(0)	2,489	
昭和62年度	入 会	—	126	55	25(29)	5(5)	211
	移 正→名	1	△1				0
	移 正→学		△1	1			0
	行 学→正		71	△71			0
	移 A→B				△1(1)	1(1)	0
	退 会		△97	△3	△7(7)	△1(1)	△108
	除 名		△37	△3			△40
復 活		6				6	
増 口				(7.5)		(7.5)	
純 増 減	1	67	△21	17(28.5)	5(5)	69	
昭和63年2月末日	8	2,275	150	120(146)	5(5)	2,558	

(5) 委員会・幹事会

•常設委員会	
OR誌編集委員会	13回
研究普及委員会	6回
IAOR委員会	5回
JORSJ編集委員会	3回
国際委員会	3回
表彰委員会	5回
•その他の委員会・幹事会	
フェロー会議	1回
研究部会主査会議	1回
会員増強委員会	2回
OA化準備委員会	1回
30周年記念事業委員会	5回
庶務幹事会	10回
企業サロン企画委員会	3回
財政問題検討委員会	1回
国際学会調整委員会	1回

4. 許可・認可・承認・証明に関する事項

申請年月日	許可年月日	申 請 事 項	備考
62. 7. 20	62. 8. 3	定款の一部変更認可申請	

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
国際会議開催	21社	13,550,000円	13,550,000円	

7. 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

8. 会員状況

	名誉 会員	正会員	学生 会員	賛助会員	
				A種	B種
本 部	7	1,367	95	79(103)	4(4)
北 海 道		69	2	3(4)	1(1)
東 北		62	3	6(6)	
中 部	1	200	5	8(8)	
関 西		330	33	11(11)	
中国・四国		127	6	5(6)	
九 州		120	6	8(8)	
合 計	8	2,275	150	120(146)	5(5)

昭和62年度収支計算書

収支計算書総括表

(昭和62年3月1日から昭和63年2月29日まで)

(単位：円)

1) 収入の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	国 際 会 議 特 別 会 計	
			国際OR会議	数理計画シンポジウム
基本財産運用収入	188,000	188,000		
入会金収入	184,200	184,200		
会費収入	43,349,583	43,349,583		
事業収入	15,565,302	15,515,302		50,000
参加費収入	13,869,300		13,869,300	
寄付金収入	13,550,000			13,550,000
雑収入	20,352,949	20,280,416		72,533
当期収入合計	107,059,334	79,517,501	13,869,300	13,672,533
前期繰越収支差額	14,061,192	14,061,192	0	0
収入合計	121,120,526	93,578,693	13,869,300	13,672,533
2) 支出の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	国 際 会 議 特 別 会 計	
			国際OR会議	数理計画シンポジウム
管理費	34,408,230	34,401,830	0	6,400
事業費	60,387,910	44,693,230	13,406,804	2,287,876
当期支出合計	94,796,140	79,095,060	13,406,804	2,294,276
当期収支差額	12,263,194	422,441	462,496	11,378,257
次期繰越収支差額	26,324,386	14,483,633	462,496	11,378,257
支出合計	121,120,526	93,578,693	13,869,300	13,672,533

収 支 計 算 書

(昭和62年3月1日から昭和63年2月29日まで)

1. 一般会計

(単位：円)

1) 収入の部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
基本財産運用収入	基本財産利息収入		188,000	188,000	0	
入会金収入	正会員入会金収入		180,000	151,200	28,800	
	学生会員入会金収入		42,000	33,000	9,000	
会費収入	正会員会費収入		27,730,000	27,840,583	△ 110,583	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事業収入	学生会員会費収入		1,040,000	780,000	260,000	
	賛助会員会費収入		12,496,000	14,729,000	△2,233,000	
	会誌頒布収入		9,410,000	9,829,002	△ 419,002	
	研究発表会収入		3,150,000	2,937,000	213,000	
	講演会収入		1,160,000	298,000	862,000	
	講習会収入		1,050,000	1,296,000	△ 246,000	
	資料等頒布収入		200,000	301,300	△ 101,300	
	I A O R 収入		490,000	455,000	35,000	
	E J O R 収入		269,000	372,000	△ 103,000	
	A P J O R 収入		15,000	27,000	△ 12,000	
雑収入	広告収入		4,200,000	4,682,360	△ 482,360	
	受取利息		1,920,000	1,988,971	△ 68,971	
	雑収入		350,000	859,085	△ 509,085	
	退職給与引当金取崩収入		0	10,400,000	△10,400,000	
	国際協力引当金取崩収入		500,000	0	500,000	
	記念事業引当金取崩収入		2,700,000	2,350,000	350,000	
	別途引当金取崩収入		1,000,000	0	1,000,000	
	当期収入合計		68,090,000	79,517,501	△11,427,501	
前期繰越収支差額		14,061,192	14,061,192	0		
収入合計		82,151,192	93,578,693	△11,427,501		

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管理費	家賃		2,734,000	2,752,800	△ 18,800	
	共益費		1,127,000	1,146,000	△ 19,000	
	什器備品費		100,000	418,500	△ 318,500	
	会議費		800,000	589,585	210,415	
	旅費交通費		1,500,000	1,127,810	372,190	
	通信費		1,228,000	1,086,290	141,710	
	印刷費		350,000	417,998	△ 67,998	
	消耗品費		530,000	540,694	△ 10,694	
	O A 化準備費		500,000	8,000	492,000	
	修繕費		20,000	0	20,000	
	給料手当		8,461,000	8,006,423	454,577	
	福利厚生費		1,558,000	1,460,027	97,973	
	臨時雇賃金		800,000	658,590	141,410	
	保険料		79,000	79,200	△ 200	
	負担金		55,000	43,500	11,500	
	支払手数料		100,000	107,305	△ 7,305	
	租税公課		60,000	51,040	8,960	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事 業 費	退 職 金		0	12,655,932	△ 12,655,932	
	退職給与引当金繰入		3,000,000	400,000	2,600,000	
	名簿作成引当金繰入		0	500,000	△ 500,000	
	O A 化引当金繰入		0	500,000	△ 500,000	
	雑 費 徴 収 不 能		150,000	123,258	26,742	
	会 費		1,000,000	1,728,878	△ 728,878	
	研 究 発 表 会					
		開 催 費	1,810,000	1,395,620	414,380	
		印 刷 費	990,000	848,100	141,900	
	印 刷 製 本 費					
		機 関 誌	15,200,000	15,389,510	△ 189,510	
		論 文 誌	2,250,000	2,942,189	△ 692,189	
		報 文 集	200,000	0	200,000	
		印 刷 費	150,000	117,180	32,820	
	国 際 協 力 費					
		I F O R S 会 費	300,000	268,782	31,218	
		I A O R 購 入 費	341,000	302,151	38,849	
		E J O R 購 入 費	260,000	292,167	△ 32,167	
		A P J O R 購 入 費	15,000	25,467	△ 10,467	
		A P O R S 関 係 費	600,000	67,325	532,675	
	研 究 活 動 費					
		講 演 会 開 催 費	1,340,000	266,980	1,073,020	
		講 習 会 開 催 費	627,000	496,085	130,915	
		O R 企 業 サ ロ ン	500,000	729,425	△ 229,425	
		研 究 部 会 費	750,000	650,000	100,000	
		支 部 費	2,305,000	2,324,000	△ 19,000	
	表 彰 事 業 費		350,000	325,091	24,909	
	会 議 費		723,000	373,750	349,250	
	旅 費 交 通 費		1,082,000	670,600	411,400	
	通 信 運 搬 費		3,607,000	3,867,245	△ 260,245	
	諸 謝 金		1,800,000	1,566,577	233,423	
	給 料 手 当		8,461,000	8,006,424	454,576	
編 集 校 正 費		1,850,000	1,836,000	14,000		
消 耗 品 費		870,000	745,058	124,942		
30 周 年 記 念 事 業 費		950,000	642,990	307,010		
F M E S 関 係 費		120,000	193,929	△ 73,929		
表 彰 事 業 引 当 金 繰 入		0	300,000	△ 300,000		
雑 費		100,000	50,585	49,415		
予 備 費						
当 期 支 出 合 計			71,703,000	79,095,060	△ 7,392,060	
当 期 収 支 差 額			△ 3,613,000	422,441	△ 4,035,441	
次 期 繰 越 収 支 差 額			10,448,192	14,483,633	△ 4,035,441	
支 出 合 計			82,151,192	93,578,693	△ 11,427,501	

2. 国際会議特別会計

(1) 第11回国際OR会議派遣

1) 収入の部						
勘定科目			予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目				
参加費収入	参加費収入		28,500,000	13,869,300	14,630,700	
当期収入合計			28,500,000	13,869,300	14,630,700	
収入合計			28,500,000	13,869,300	14,630,700	
2) 支出の部						
勘定科目			予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目				
事業費	登録費	交通費	1,125,000	731,494	393,506	
	旅費	関係費	21,250,000	11,377,300	9,872,700	
	視察	費	3,000,000	707,480	2,292,520	
	印会	刷議費	1,000,000	211,200	788,800	
	通	議信費	150,000	357,390	△ 207,390	
	雑	信費	150,000	16,790	133,210	
		費	1,825,000	5,150	1,819,850	
当期支出合計			28,500,000	13,406,804	15,093,196	
当期収支差額			0	462,496	△ 462,496	
次期繰越収支差額			0	462,496	△ 462,496	
支出合計			28,500,000	13,869,300	14,630,700	

(2) 第13回国際数理計画シンポジウム

1) 収入の部						
勘定科目			予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目				
事業収入	展示収入		0	50,000	△ 50,000	
寄付金収入	寄付金収入		12,500,000	13,550,000	△ 1,050,000	
雑収入	雑収入		250,000	72,533	177,467	
当期収入合計			12,750,000	13,672,533	△ 922,533	
収入合計			12,750,000	13,672,533	△ 922,533	

2) 支出の部				予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
勘 定 科 目							
大 科 目	中 科 目	小 科 目					
管 理 費				0	2,800	△ 2,800	
	支 払 手 数 料			0	3,600	△ 3,600	
事 業 費	租 税 公 課						
	会 議 費			630,000	549,776	80,224	
	旅 費 交 通 費			1,725,000	63,220	1,661,780	
	通 信 運 搬 費			1,328,550	759,840	568,710	
	印 刷 費			1,320,000	638,900	681,100	
	消 耗 品 費			477,500	82,790	394,710	
	事 務 委 託 費			150,000	0	150,000	
	臨 時 雇 賃 金 費			0	161,000	△ 161,000	
	雑 費			100,000	32,350	67,650	
当 期 支 出 合 計				5,731,050	2,294,276	3,436,774	
当 期 収 支 差 額				7,018,950	11,378,257	△ 4,359,307	
次 期 繰 越 収 支 差 額				7,018,950	11,378,257	△ 4,359,307	
支 出 合 計				12,750,000	13,672,533	△ 922,533	

貸 借 対 照 表 総 括 表

昭和63年 2 月 29 日

(単位：円)

1. 資産の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計 (数 理 計 画 シ ン ポ ジ ウ ム)
流 動 資 産 合 計	73,960,513	59,296,145	14,664,368
固 定 資 産 合 計	0	0	0
資 産 合 計	73,960,513	59,296,145	14,664,368
2. 負債の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計 (数 理 計 画 シ ン ポ ジ ウ ム)
流 動 負 債 合 計	26,569,296	26,569,296	0
固 定 負 債 合 計	16,066,831	12,780,720	3,286,111
負 債 合 計	42,636,127	39,350,016	3,286,111
3. 正味財産の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計 (数 理 計 画 シ ン ポ ジ ウ ム)
基 本 金	5,000,000	5,000,000	0
余 剰 金	26,324,386	14,946,129	11,378,257
正 味 財 産 合 計	31,324,386	19,946,129	11,378,257
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	73,960,513	59,296,145	14,664,368

(注) 国際OR会議関係は一般会計に含む。

貸借対照表

昭和63年2月29日

I 一般会計

1. 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金	47,535,720	
	預金	8,000,000	
	有価証券	3,376,720	
	未収金	383,705	
流動資産合計			59,296,145
有形固定資産		0	
有形固定資産合計			0
資産合計			59,296,145

2. 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債	預り金	528,320	
	未払金	209,000	
	未受金	25,831,976	
流動負債合計			26,569,296
固定負債	退職給与引当金	402,508	
	敷金引当金	1,821,640	
	国際協力引当金	3,817,106	
	記念事業引当金	550,000	
	表彰事業引当金	1,160,000	
	名簿作成引当金	500,000	
	O A 化引当金	500,000	
	別途引当金	4,029,466	
固定負債合計			12,780,720
負債合計			39,350,016

3. 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金 剰余金	基本金		5,000,000
	次期繰越収支差額 (うち当期増減額)	14,946,129 (884,937)	
剰余金合計			14,946,129
正味財産合計			19,946,129
負債及び正味財産合計			59,296,145

II 特別会計（第13回数理計画法シンポジウム）

1. 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	14,639,868	
	前払金	24,500	
流動資産合計			14,664,368
有形固定資産		0	
有形固定資産合計			0
資産合計			14,664,368

2. 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債		0	
流動負債合計			0
固定負債	借入金	3,286,111	
固定負債合計			3,286,111
負債合計			3,286,111

3. 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
剰余金	次期繰越収支差額 (うち当期増減額)	11,378,257 11,378,257	
剰余金合計			11,378,257
正味財産合計			11,378,257
負債及び正味財産合計			14,664,368

財 産 目 録

昭和63年 2月29日

I 一般会計

	金 額	
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 現金		
現金手許有高	93,432	
(2) 振替貯金		
東京振替貯金局	435,299	
(3) 当座預金		
第一勸業銀行八重洲口支店	154,119	
住友銀行白山支店	216,081	
(4) 普通預金		
第一勸業銀行八重洲口支店	5,861,090	
住友銀行白山支店	3,938,254	
三菱銀行千駄木支店	2,687,445	
(5) 定期預金		
第一勸業銀行八重洲口支店	17,000,000	
住友銀行白山支店	10,150,000	
三菱銀行千駄木支店	7,000,000	
2. 有価証券(利付債券)		
日本長期信用銀行本店	8,000,000	
3. 未収金		
62年度会費他	3,376,720	
4. 前払金		
63年春季研究発表会会場費他	383,705	59,296,145
II. 有形固定資産	0	0
資 産 合 計		59,296,145

	金 額	
(負債の部)		
I. 流動負債		
1. 預り金		
職員に対する源泉所得税他	528,320	
2. 未払金		
消耗品費	209,000	
3. 前受金		
63年度会費前受他	25,831,976	26,569,296

II. 固定負債		
1. 退職給与引当金	402,508	
2. 敷金引当金	1,821,640	
3. 国際協力引当金	3,817,106	
4. 記念事業引当金	550,000	
5. 表彰事業引当金	1,160,000	
6. 名簿作成引当金	500,000	
7. OA化引当金	500,000	
8. 別途引当金	4,029,466	12,780,720
負 債 合 計		39,350,016
正 味 財 産		19,946,129

注：基本財産たる資産
定期預金(第一勸業銀行八重洲口支店) 5,000,000

II 特別会計(第13回数理計画法シンポジウム)

	金 額	
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 現金		
現金手許有高	0	
(2) 普通預金		
第一勸業銀行大岡山支店	1,575,982	
住友銀行白山支店	3,886	
(3) 定期預金		
住友銀行白山支店	13,060,000	
2. 前払金		
庶務委員会(小沢委員)	14,300	
広報委員会(杉原委員)	10,200	14,664,368
II. 有形固定資産	0	0
資 産 合 計		14,664,368

(負債の部)		
I. 流動負債		0
II. 固定負債		
1. 借入金		
数理計画シンポジウム委員会	3,268,171	
森戸委員	9,440	
土谷委員	8,500	3,286,111
負 債 合 計		3,286,111
正 味 財 産		11,378,257

昭和63年度事業計画書

本学会は昨年創立30周年を迎え、長期計画の策定を行った。その計画の中で今後の学会の活動の視点として、特に、

(1)「ORの実学への回帰」の実践

(2)「ORは役に立つ」ことの周知への努力

の2つが主要なポイントとして指摘されている。

この長期計画をふまえ、昭和63年度事業計画は、学会の新たな発展に向け、ORの普及や実践の活動をこれまで以上に推進することを基本として策定した。

昭和63年度における計画の概要は次の通りである。

1. 研究発表会

研究発表会を春秋2回開催する。

(1) 春季研究発表会

期日：4月6日，7日（見学会は8日）

場所：金沢女子大学

特別テーマ：地方の時代とOR

(2) 秋季研究発表会（日本経営工学会と共催）

期日：9月28日，29日（見学会は30日）

場所：上智大学

2. シンポジウム

シンポジウムを2回開催する。

(1) 第19回シンポジウム

期日：4月8日

場所：金沢工業大学

テーマ：ORの戦略的利用

(2) 第20回シンポジウム

期日：(未定)

場所：(未定)

テーマ：(未定)

3. 研究部会・研究グループ活動

(1) 研究部会

次の15研究部会を設置する。

ア. 常設（3研究部会）

「待ち行列」 主査：牧野都治（東京理科大学）

「数理計画」 主査：古林 隆（法政大学）

「OR/MSとシステムマネジメント」

主査：太田敏澄（豊橋技術科学大学）

イ. 継続（7研究部会）

「動的計画法」

主査：小田中敏男（東京都立科学技術大学）

「最適化とその応用」主査：児玉正憲（九州大学）

「政策問題」

主査：荻野正浩（㈱電脳総合サービス）

「対話型OR」 主査：権藤 元（近畿大学）

「交通・流通システム」

主査：忍田和良（㈱日通総合研究所）

「最適化とその周辺」主査：茨木俊秀（京都大学）

「意思決定」 主査：真鍋龍太郎（文教大学）

ウ. 新設（5研究部会）

「確率モデルとその周辺」

主査：大野勝久（名古屋工業大学）

「システム・シミュレーション」

主査：森戸 晋（早稲田大学）

「システム・ダイナミクス」

主査：亀山三郎（中央大学）

「情報ネットワーク」

主査：勅使河原可海（日本電気㈱）

「投資と金融のOR」

主査：今野 浩（東京工業大学）

(2) 研究グループ

次の4研究グループを設置する。

ア. 継続（2研究グループ）

「決定理論とその応用」

主査：坂口 実（大阪大学）

「トップ業務の創造的エキスパートシステム設計」

主査：三重野博司（東京理科大学）

イ. 新設（2研究グループ）

「社会分析」

主査：小島光造（㈱佐々木彬夫事務所）

「経営・管理システム」

主査：上田亀之助（(有)上田イノベーション研究所）

4. 普及活動，会員増強活動

(1) 講演会，講習会の開催

(2) OR企業サロンの開催（5回）

(3) 会員増強活動の推進（特にB種賛助会員の拡大をはかる）

(4) その他学会活動の広報

5. 刊行物

次の刊行物を発行する。

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」（12号）

(2) 論文誌「Journal of the Operations Research Society of Japan」（4号）

(3) 研究発表会アブストラクト集（2回）

(4) シンポジウム予稿集（2回）

(5) 会員名簿

6. 他学協会と連携・協力

- (1) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会に委員を、また、経営工学関連協議会（FME S）に代議員を派遣し、これらの活動に参画する。
- (2) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会、(社)日本経営工学会および(社)日本品質管理学会との共催により、第4回連合シンポジウムを開催する。
期日：7月15日
場所：日本学術会議講堂及び会議室
テーマ：「21世紀の日本産業と経営工学」
- (3) (社)日本工学会、その他関連学協会との交流を積極的に進める。

7. 国際協力・交流

- (1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies)を通じて、各国のOR学会と協力する。
- (2) 本学会共催の第13回国際数理計画法シンポジウム(1988年)を開催するとともに、第29回TIMS国際会議(1989年)および第21回国際数学者会議(1990年)の開催の準備に協力する。
- (3) APORS(Asian-Pacific Operational Research Societies)関連
APORSの第1回会議(8月24日から26日まで韓

国のソウルで開催)に対し、当学会からも論文の発表と参加者の派遣を行なう。

APORS事務局として協力する。

(4) AHP国際シンポジウム

AHP国際シンポジウム(9月6日から9日まで中国の天津市で開催)に「AHP国際シンポジウム参加視察団」を派遣する。(派遣期間9月5日~16日)

- (5) 国内のORに関する文献の抄録を作成することにより、IAOR(International Abstracts in Operations Research), EJOR(European Journal of Operational Research)及びAPJOR(Asia-Pacific Journal of Operational Research)の編集発行及び国内頒布に協力する。

8. 支部活動

各支部において、研究会、講演会、見学会等を企画し、実施する。

9. 表彰

文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞(ソフトウェア部門賞を含む)及び学生論文賞の選考・表彰を行なう。

10. その他

事務局OA化を推進する。

(第4号議案)

昭和63年度収支予算書

収支予算書総括表

(昭和63年3月1日から昭和64年2月28日まで)

(単位：円)

科 目	合 計	一 般 会 計	国 際 会 議 特 別 会 計	
			数 理 計 画 シ ン ポ ジ ウ ム	経 営 科 学 会 議 国 際 会 議
基本財産運用収入	170,000	170,000		
入会金収入	219,000	219,000		
会費収入	44,867,000	44,867,000		
事業収入	39,937,000	15,437,000	24,500,000	
寄付金収入	10,040,000	0	5,450,000	4,590,000
雑収入	10,371,250	9,874,000	497,250	
当期収入合計	105,604,250	70,567,000	30,447,250	4,590,000
前期繰越収支差額	25,861,890	14,483,633	11,378,257	
収入合計	131,466,140	85,050,633	41,825,507	4,590,000

2) 支出の部

科 目	合 計	一 般 会 計	国 際 会 議 特 別 会 計	
			数理計画シンポジウム	経営科学会国際会議
管 理 費	23,748,000	23,748,000	0	0
事 業 費	88,807,054	46,819,000	41,098,054	890,000
当 期 支 出 合 計	112,555,054	70,567,000	41,098,054	890,000
当 期 収 支 差 額	△ 6,950,804	0	△ 10,650,804	3,700,000
次 期 繰 越 収 支 差 額	18,911,086	14,483,633	727,453	3,700,000
支 出 合 計	131,466,140	85,050,633	41,825,507	4,590,000

収 支 予 算 書

昭和63年3月1日から昭和64年2月28日まで

1. 一般会計

(単位：円)

1) 収入の部

大 科 目	勘 定 科 目		予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
	中 科 目	小 科 目				
基本財産運用収入	基本財産利息収入		170,000	188,000	△ 18,000	
入会金収入	正会員入会金収入		180,000	180,000	0	
	学生会員入会金収入		39,000	42,000	△ 3,000	
会費収入	正会員会費収入		28,242,000	27,730,000	512,000	
	学生会員会費収入		990,000	1,040,000	△ 50,000	
	賛助会員会費収入		15,635,000	12,496,000	3,139,000	
事業収入	会誌頒布収入		9,600,000	9,410,000	190,000	
	研究発表会収入		3,410,000	3,150,000	260,000	
	講演会収入		448,000	1,160,000	△ 712,000	
	講習会収入		1,020,000	1,050,000	△ 30,000	
	資料等頒布収入		200,000	200,000	0	
	I A O R 収入		465,000	490,000	△ 25,000	
	E J O R 収入		269,000	269,000	0	
	A P J O R 収入		25,000	15,000	10,000	
雑収入	広告収入		4,060,000	4,200,000	△ 140,000	
	受取利息		1,214,000	1,920,000	△ 706,000	
	名簿収入		500,000	0	500,000	
	雑収入		400,000	350,000	50,000	
	国際協力引当金取崩収入		500,000	500,000	0	
	OA化引当金取崩収入		300,000	0	300,000	
	記念事業引当金取崩収入		0	2,700,000	△ 2,700,000	
	別途引当金取崩収入		2,900,000	1,000,000	1,900,000	
当 期 収 入 合 計			70,567,000	68,090,000	2,477,000	
前期繰越収支差額			14,483,633	14,061,192	422,441	
収 入 合 計			85,050,633	82,151,192	2,899,441	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
大 科 目	中 科 目	小 科 目					
管 理 費	家賃	賃費	2,780,000	2,734,000	46,000		
	共益	費費	1,146,000	1,127,000	19,000		
	什器備品	費費	0	100,000	△ 100,000		
	会議	費費	800,000	800,000	0		
	旅費	交通費	1,350,000	1,500,000	△ 150,000		
	通信	費費	1,300,000	1,228,000	72,000		
	印刷	費費	400,000	350,000	50,000		
	名簿印刷	費費	500,000	0	500,000		
	消耗品	費費	750,000	530,000	220,000		
	O A 化準備	費費	500,000	500,000	0		
	繕繕	費費	20,000	20,000	0		
	給料	手当	9,808,000	8,461,000	1,347,000		
	福利厚生	費費	1,550,000	1,558,000	△ 8,000		
	臨時雇	賃金	700,000	800,000	△ 100,000		
	保険	料	79,000	79,000	0		
	負担	金	55,000	55,000	0		
	支払手数	料	100,000	100,000	0		
	租税公課	課	60,000	60,000	0		
	事 業 費	退職給与引当金繰入	費	200,000	3,000,000	△ 2,800,000	
		雑費徴収不能	費	150,000	150,000	0	
研究発表会		開催費	2,047,000	1,810,000	237,000		
印刷製本費		印刷費	1,220,000	990,000	230,000		
		機関誌	14,400,000	15,200,000	△ 800,000		
		論文誌	2,600,000	2,250,000	350,000		
		報文集	200,000	200,000	0		
		印刷費	150,000	150,000	0		
国際協力費		I FORS 会費	250,000	300,000	△ 50,000		
		I A O R 購入費	323,000	341,000	△ 18,000		
		E J O R 購入費	260,000	260,000	0		
		A P J O R 購入費	25,000	15,000	10,000		
		A P O R S 関係費	532,000	600,000	△ 68,000		
研究活動費		講演会開催費	601,000	1,340,000	△ 739,000		
		講習会開催費	630,000	627,000	3,000		
		O R 企業サロン	500,000	500,000	0		
		研究部会費	750,000	750,000	0		
		支部費	2,443,000	2,305,000	138,000		
表彰事業費		費	300,000	350,000	△ 50,000		
会議費		費	648,000	723,000	△ 75,000		
旅費	交通費	992,000	1,082,000	△ 90,000			

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
予 備 費	通 信 運 搬 費		3,780,000	3,607,000	173,000	
	諸 謝 金		1,435,000	1,800,000	△ 365,000	
	給 料 手 当		9,808,000	8,461,000	1,347,000	
	編 集 校 正 費		1,720,000	1,850,000	△ 130,000	
	消 耗 品 費		805,000	870,000	△ 65,000	
	30 周 年 記 念 事 業 費		0	950,000	△ 950,000	
	F M E S 関 係 費		150,000	120,000	30,000	
	記 念 事 業 引 当 金 繰 入		150,000	0	150,000	
	雑 費		100,000	100,000	0	
当 期 支 出 合 計			70,567,000	71,703,000	△ 1,136,000	
当 期 収 支 差 額			0	△ 3,613,000	3,613,000	
次 期 繰 越 収 支 差 額			14,483,633	10,448,192	4,035,441	
支 出 合 計			85,050,633	82,151,192	2,899,441	

2. 国際会議特別会計

(1) 第13回国際数理計画法シンポジウム

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事 業 収 入						
	参 加 費 収 入		24,000,000	0	24,000,000	
	資 料 等 頒 布 収 入		0	0	0	
	展 示 収 入		500,000	0	500,000	
補 助 金 収 入 等						
	助 成 金 収 入		0	0	0	
寄 付 金 収 入						
	寄 付 金 収 入		5,450,000	12,500,000	△ 7,050,000	
雑 収 入						
	広 告 収 入		0	0	0	
	受 取 利 息 収 入		497,250	250,000	247,250	
	雑 収 入		0	0	0	
当 期 収 入 合 計			30,447,250	12,750,000	17,697,250	
前 期 繰 越 収 支 差 額			11,378,257	0	11,378,257	
収 入 合 計			41,825,507	12,750,000	29,075,507	

2) 支出の部

勘定科目			予算額	前年度予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目				
事業費			6,040,000	0	6,040,000	
	貸	料	5,649,004	630,000	5,019,004	
	会	議	7,610,920	1,725,000	5,885,920	
	旅	交	2,595,170	1,328,550	1,266,620	
	通	通	7,046,100	1,320,000	5,726,100	
	信	搬	2,902,210	477,500	2,424,710	
	印	費	4,240,000	150,000	4,090,000	
	消	品	930,000	0	930,000	
	耗	費	3,917,000	0	3,917,000	
	事	務	167,650	100,000	67,650	
	給	委				
	与	託				
	手	費				
	当	金				
	給	賃				
	時	費				
	雇					
	賃					
	金					
	費					
	雑					
当期支出合計			41,098,054	5,731,050	35,367,004	
当期収支差額			△10,650,804	7,018,950	△17,669,754	
次期繰越収支差額			727,453	7,018,950	△6,291,497	
支出合計			41,825,507	12,750,000	29,075,507	

(2) 第29回経営科学会国際会議

1) 収入の部

勘定科目			予算額	前年度予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目				
寄付金収入						
	寄	入	4,590,000	0	4,590,000	
	付	入				
	金	入				
	収	入				
	入	入				
収入合計			4,590,000	0	4,590,000	

2) 支出の部

勘定科目			予算額	前年度予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目				
事業費						
	旅	交	180,000	0	180,000	
	費	通	210,000	0	210,000	
	印	費	500,000	0	500,000	
	刷	費				
	事	務				
	委	託				
	託	費				
当期支出合計			890,000	0	890,000	
次期繰越収支差額			3,700,000	0	3,700,000	
支出合計			4,590,000	0	4,590,000	

昭和63年度・64年度役員候補者並びに継続役員名簿

(第5号議案)

会務役職	定数	候補者	非改選役員
会長	1 (1)	典一	啓二
副会長	3 (1)	森反村 英洋	竹矢 内島 敬 啓二
庶務	2 (1)	塚武志	内島清山 邦壽善 一靖
庶務	1 (0)	腰塚	森若野田
研究	2 (1)	田和正	西山
普及	2 (1)	田見本	小和田
集計	2 (1)	藤鍋	
計所	1 (1)	龍太	
無任	4 (3)	真柳	正
事務	2 (1)	今野	嶋田 正三

()内は
63年度改選数

昭和63年度・64年度評議員候補者名簿

(第6号議案)

氏名		氏名		氏名	
1	阿南信博	25	佐久間孝	49	平尾信正
2	青木兼一	26	斉藤嘉博	50	藤永靖彦
3	青沼龍雄	27	坂口実	51	真鍋龍太郎
4	浅利英吉	28	須永照雄	52	前田英次郎
5	荒木陸彦	29	鈴木誠道	53	牧野都治
6	伊理正夫	30	千住鎮雄	54	松田武彦
7	岩田怜	31	反町洋一	55	松田寿子
8	茨木俊秀	32	田畑吉雄	56	三浦大亮
9	海辺不二雄	33	高井英造	57	水野幸男
10	梅沢豊	34	高橋磐郎	58	本告光男
11	榎本久徳	35	高橋幸雄	59	森雅夫
12	小笠原暁	36	寺岡義伸	60	森口繁一
13	小田部齊	37	刀根薰	61	森下啓造
14	尾崎俊治	38	徳山博子	62	森戸晋
15	大前義次	39	中野友次	63	八巻直躬
16	加地郁夫	40	中道博	64	矢島敬二
17	川野幸三郎	41	西田俊夫	65	矢部眞
18	唐津一	42	沼田久	66	柳井浩
19	栗原宏文	43	野島和夫	67	山下達哉
20	小和田正	44	長谷川利治	68	山本保
21	児玉正憲	45	橋田温	69	吉村博之
22	近藤次郎	46	鳩山由紀夫	70	渡辺浩
23	後藤義雄	47	原野秀永		
24	権藤元	48	日比野康文		